

	<p>資格取得の奨励 [各教科]</p> <p>③進路情報の収集と生徒への伝達 [進路指導課]</p>	<p>①-1 授業の中に、中学校段階の内容も取り入れつつ、基礎基本的な学力の底上げを図る。</p> <p>①-2 基礎学力コンペの内容・範囲設定を見直し、意義を説明し、学習意欲を喚起する。</p> <p>②-1 定期考査前補習で、低学力者層に向けた補習を実施する。</p> <p>②-2 県定通教育振興会からの教育活動支援金を利用し、検定試験応援キャンペーンを実施する。</p> <p>②-3 希望者に対して資格取得に対する補習を実施する。</p> <p>③-1 校内進路ガイダンスを外部の方を招いて実施し、生徒の視野を広げ、進路について考える機会を設ける。</p> <p>③-2 ハローワーク、全日制就職課と連携しながら、定時制単独の求人を獲得すべく職場訪問を計画的に実施する。</p>	<p>①-1 ①-2 ② ③-1 ③-2 ④-1 ④-2</p>			
<p>[主権者意識向上]</p> <p>社会の出来事に対する興味関心が薄く、自分の意見を持って他者と議論する力に乏しい。</p>	<p>(全体レベル) 地歴・公民科をはじめとした各教科の授業やホームルーム活動、学校行事等の充実を図り、広い視野を持ち、主体的に発言や行動ができる生徒を育てる。</p> <p>(下位組織レベル) ①自ら考え、自ら判断するための、基本的な事項を理解する。 [地歴公民科]</p> <p>②生徒が主体性を持って取り組む学校行事の実施 [特別活動課]</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 地歴・公民科の授業評価アンケートで、主権者として知識と意識が高まったと答えた生徒の割合 65 %</p> <p>①-2 主権者教育出前講座後のアンケートで、主権者としての知識と自覚が高まったと答えた生徒の割合 65 %</p> <p>①-3 租税教室後のアンケートで、税に対する知識と意識が高まったと答えた生徒の割合 65 %</p> <p>①-4 消費者教育出前授業後のアンケートで、消費者としての知識と意識が高まったと答えた生徒の割合 65 %</p> <p>② 行事の運営や自主的な活動に参加した生徒の割合 60 %</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 地歴・公民科の授業の毎時間、生徒に NEWS を発表させることで、主権者としての知識と意識のアップデートを図る。</p> <p>①-2 主権者教育出前講座を実施し、生徒の主権者としての知識と自覚のアップデートを図る。</p> <p>①-3 租税教室を実施し、生徒の税に対する知識と納税者としての自覚のアップデートを図る。</p> <p>①-4 消費者教育出前授業を実施し、生徒の消費者としての知識と意識のアップデートを図る。</p> <p>② 行事の運営について生徒会を中心に主体的に関わる生徒が増えるよう促す。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①-1 ①-2 ①-3 ①-4 ②</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 ①-2 ①-3 ①-4 ②</p>	<p>(評定)</p> <p>(所見)</p>		

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった